

社会教育施設 整備通信



NEWS & TOPICS

01

施設統廃合と地方創生を目指す総合体育館 有利な財源を活用し負担を抑制

総合体育館建設を進めるにあたり、町では公共施設の集約、アリーナ化による地方創生を計画に盛り込むことで、非常に有利な財源である過疎債や国の交付金を活用することができています。これにより町の実質負担額は約15億円にまで抑えられていますが、もし観客席や興行用設備のない通常の体育館として現在のまま3ヶ所に建設した場合も同程度の建設費が試算されており、そのすべてを町が負担する必要があります。またこれらの国の支援は今年度の予算確保はされていますが、もし3月までに契約を締結できなかった場合、もう一度確保できるかは不透明となります。

● 既存の3体育館を統合し
総合体育館を新築した場合

● 既存の3体育館を
維持・建て直した場合



※ 令和7年12月時点

NEWS & TOPICS

03

問題解決に向けて設計内容を精査 早期の契約締結へ内容を見直し

町としては、最小の費用で早期に皆さまの活動の場を確保するために、現在、建設単価の精査と設計内容の見直しを行っています。本来であれば条件を変更し、4度目の入札を行うところですが、上記の理由から早急な対応が求められるため、随意契約等の方法も視野に入れ、検討を進めています。今後は問題点の究明・改善を進めながら、早期の契約締結に努めてまいります。

NEWS & TOPICS

02

資材高騰・労働力不足で厳しい施工業者選定 総合体育館の入札は三度不調

福智町総合体育館は実施設計が完了し、条件付き一般競争入札により施工業者を募集してきましたが、3回の入札不調が続いています。昨今の建設資材の価格高騰、働き方改革による建設業界の人手不足は深刻であり、県内でも大規模工事は入札不調が相次いでいるようです。建設費は設計開始時から約2倍に迫る高騰を見せており、何らかの対策を行わなければ契約締結は困難である状況です。

◎ 総合体育館建設 これまでの入札結果

	第一回入札公告	第二回入札公告	第三回入札公告
告示	令和7年6月12日	令和7年7月3日	令和7年9月18日
結果	中止	中止	中止
理由	(応募1者) 参加者が入札執行 必要数(2者)を満 たさなかったため	(応募1者) 参加者辞退	(応募1者) 参加者辞退



旧方城分館・方城体育館の解体が完了した建設予定地の現況